

概要

活動地域: 東京都墨田区横綱
活動期間: 2012 年度～継続中
活動体制: 工学院大学 野澤研究室
佐藤総合計画 ヘルスケア研究会

活動キーワード: 健康、情報、
コンパクトシティ、地方都市



2015 年度活動メンバー

B4 伊豆 拓也 島田 泰仁

「健康」をキーとした都市のあり方、 新たな暮らし方を考える

活動経緯

佐藤総合計画と工学院大学野澤研究室とで「ヘルスケアシティ研究会」を組織し、定期的なミーティングを実施しながら、提案をまとめてきた。2012-2013 年度は、提案の前提となる条件を確認・整理するために、外部講師を招いた内部勉強会も実施して議論の素材としてきた。2013 年度からの議論の成果をひとつの都市像として取りまとめた。

活動対象地概要

佐藤総合計画は、「東京ビッグサイト」や「エコパスタジアム」など、数々の有名建築物の設計を手がけてきた、総合設計事務所である。私たちが活動に向う東京本社は、墨田区の南側、碁盤目状に整備された通りのうち、清澄通りに面した位置にある。

学生が行う活動としては、佐藤総合計画で週1回のペースで行われるミーティングに参加すること、そのミーティングで必要となる資料を研究室で作成し、事前に用意することの、主に2つがある。



昨年度までの活動内容

「ヘルスケアシティ」構想の5つのコンセプトが提示し、「シティリング」と呼ぶ空間コンセプトを導き出した。さらにコンセプトを実現し、日常生活をサポートしていく4つのプログラムとして、「ヘルスポート」、「マルチハウジング」、「ヒューマントランスポート」、「グリーンループ」についてまとめた。そして、この研究成果を報告するとともに、ディスカッションを通して構想に対する新たな視座を得ようと、遠藤新氏(工学院大学)、豊田菜穂氏(総合開発研究機構(NIRA))をパネリストとして参加していただいたシンポジウムが、工学院大学新宿校舎にて2014年7月31日に行われた。

2015年度の活動内容

【ヘルスケアワーキング】（通年）

週1回、佐藤総合計画東京本社にて、メンバーで集まり、会議を行う。そこで、来週までに用意してもらいたい資料が指定されるので、大学で作成・用意した。

会議内容

- 「レポート」の進捗確認
- 各プログラムの検討、小冊子の内容検討 etc...

【レポートの作成】（通年）

これまでの活動の蓄積を集約した、「レポート」を昨年度から継続して作成。今年度内の完成を目指し、章節ごとにAXSの各担当者がまとめ、学生がインデザインを使用し文章を作成している。

【4つのプログラムの検討】（4月～9月）

昨年度提案した、「ヘルスポート」、「マルチハウジング」、「ヒューマントランスポート」、「グリーンループ」の4つのプログラムについて、どのような定義とするか、より詳細に中身を検討した。

各プログラムに関連する研究をされている方に、講演会をお願いし、プログラムの基部とした。2015年度は、弘前大学の北原啓司先生に講演会をお願いした。



各プログラムについて会議するのに必要な資料として、大学でAdobeソフトなどを使用し、上のような図版の作成を行った。

【佐藤総合計画創立70周年に向けて】（7月～9月）

佐藤総合計画の創立70周年記念を迎えるにあたって、各シーズ（佐藤総合計画が行う、社会貢献活動。「ヘルスケアシティ」ほか、「隅田川ネイチャーシティ構想」、「ジャンクションシティ構想」がある）から、新たなコンパクトシティ構築に向けた提案をまとめた、小冊子を作成することになった。



「ヘルスケアシティ」では、それまで話し合われたことを見直しながら、小冊子作成に向けて、提案内容をまとめた。限られた期間で、プログラムの内容を検討しながら、図版を作成する必要があったため、大学の夏季休暇には、社内で打ち合わせをしながら、社内のパソコンを利用して以下のような図版を作成した。

